道程

西東京市立ひばりが丘中学校
第３学年
第１３号
令和７年６月３日発行

運動会の予定だった６月３日も雨で４日に順延が決定しました。天気予報だと晴れになっているので、運動会日和になるでしょう。修学旅行では法隆寺では大雨に降られましたが、その後は晴れました。運動会の前日は「今が法隆寺」と言いましたが、法隆寺の滞在時間がちょっと長くなってしまいました。新たに気持ちをつくって、中学校生活最後の運動会に挑みましょう。

今回は修学旅行のＤ組の作文を紹介します。

「初めての民家ステイで」

Ｄ組　菜

一日目は民家ステイを行う、と聞かされたとき、正直楽しみよりも不安の方が大きかった。私は人とコミュニケーションをとるのがあまり得意ではないし、家でもお手伝いをする機会があまりないから、民家ステイでうまくやっていけるのかすごく心配だった。

そして迎えた当日。私たちの班の民家の方は女性で、話してみると気さくで物知りな方だったので、緊張や不安はすぐにほぐれた。

時間になるまで岩屋山古墳や岡寺などいろいろな場所を案内してもらい、その後、民家ステイの人の家へと向かった。家はとても大きくて、風呂が五右衛門風呂なのが印象的だった。

荷物を置いてすぐに畑へ行き、雑草の草刈りを手伝った。クワを使うのは初めてだったので、最初はうまく切れなかったけれど、慣れてくるとスパスパ切れて楽しかった。初めて見る虫やカエルがいてビビりながらの作業だったが、終わった後に手作りの梅ジュースを振る舞ってもらい、すごくおいしかった。

晩ご飯は、普段料理をしないから時間がかかってしまったけど、ステイ先の方は、アドバイスをくれつつ、怒らず見守ってくれた。

民家ステイでの一日はとても楽しく、お別れするのがとても名残惜しいくらいだった。初めは本当に緊張していたけれど、優しい皆さんのおかげで、楽しく過ごすことができた。

「中学生探偵」

Ｄ組

私は中学生探偵山内萌加。どうやら、ひばりが丘中学校の「新緑の修学旅行（ラストジュエル）」なるものに、同じく中学生探偵鴨志田汐理と巻き込まれてしまったようだ。一つの班に探偵が二人もいるのはマズいと思い、探偵ということを隠して修学旅行（ラストジュエル）に臨んだ。そこで起きた数多くの事件をいくつか紹介しようと思う。

一つめの事件は、さつまいもの天ぷら美味しすぎってことだ。どうやら、ひばりが丘中学校の修学旅行（ラストジュエル）は、民家ステイが一日あるらしい。その夜、山盛りの天ぷらを作ってみんなで囲んだのだが、楽しすぎたし、天ぷらがうまい。正直、「バーロー、こんな量の天ぷらを中学生女子四人で食べきれるわけねぇだろ。」と思ったが、見事に完食した。探偵である私の推理が外れたこともあり、大事件になったが、良い思い出にもなった。

二つめの事件は、清水寺大吉事件だ。どうやら探偵は事件に巻き込まれないといけない運命らしい。人生初の清水寺だったこともあり、探偵ということを忘れて、満喫していた。さすがにあんな所から飛び降りるなんて事件は起きなかったが、同じくらい大きな事件があった。

清水で引いたおみくじがなんと大吉だったのだ。それだけなら事件でも何でも無いのだが、同じ班員の一人の結果は凶だったのだ。私のおみくじにはとんでもなく良いことが書いてあったが、あいつの顔は暗かった。

そんなこんなで、鴨志田汐理達と無事に帰ってきた私は、「新緑の修学旅行（ラストジュエル）」をなんとか乗り切った。

どんなときでも思考回路は中学生。思い出はいっぱい、心はいつも一つ。